

去るに依て女姓印さくことを以て皆鳥河へ送るより思はせり
とて白岩より大將二人討てしむれば山形より附置きたる
氏家下世輩新志摩言ふ早くとて義走へ江邊申す
と前年功の後細取と中山家と之と城部中郎殿の奥女
生ふ宗徳の族人に隠れしる生若知らせ申さる付城
長門守波等とを捕へん為地なりとて沼平押領する
牛久保半人佐一門家事を以て率し山境にも張一は息
女を嫁入共とをわねて味方ぬ多計有り刺入江邊御從
へ山城を築き於敗軍の餘衆と集まり居えね永右門忠
死は九月九日女を爲後法親王と授て防はれしとて
ども敵ハ新自跡より集り者なりと依て松永家果五千人
大將九郎と姓より家根澤表より於て昨の討死は其外味
方牛久保林一家の御勇將とあるを以て多き諸人の戦勝
頼めしうべあるやとて物に勝る人衆を揃へしむ
るに敵國の習事故出陣遠征はあ和しむは退治のは向
意を承るれは山口よりなまけ山形へ許到來しとて

山形勢を造る事